

「学生のまち京都」に住む学生たちの出身地は？ —平成22年国勢調査結果から—

総務省統計局から平成24年7月31日に公表された平成22年国勢調査結果の移動人口の産業等集計等から、平成22年10月1日に京都市にお住まいだった学生（在学者(注)）の方々が、その5年前（平成17年10月1日）にどこにお住まいだったかをご紹介します。

(注) 予備校、洋裁学校、料理学校、会話学校、社員の研修所、訓練所などを除く「学校」に在学中の方をさします。  
この記事では「在学者」を「学生」としています。

○京都市在住の学生

平成22年10月1日現在、京都市には学生が228,212人（年齢不詳を含む。）おられました。内訳を年齢5歳階級別にみると、15歳未満は99,094人、15～19歳は65,636人、20～24歳は54,519人、25～29歳は5,127人、30歳以上は3,773人でした。

このうち、多くが大学生や大学院生とみられる20～24歳をみると、5年前と住所が同じ方は18,399人で、同年代の学生全体（5年前の常住地不詳を除く49,446人）に占める割合は37.2%、5年前に京都市内の別の場所にお住まいだった方は2,818人（同5.7%）、5年前に京都市外にお住まいだった方は28,229人（同57.1%）でした。市外にお住まいだった方の内訳をみると、京都市を除く京都府内にお住まいだった方は1,266人（同2.6%）、他の都道府県にお住まいだった方は25,697人（同52.0%）、海外にお住まいだった方は1,266人（同2.6%）でした。平成22年10月1日に京都市にお住まいだった20代前半の学生は、6割近くが過去5年以内に京都市外から転入されたことになります。

表-1 京都市在住の学生における5年前の常住地（平成22年国勢調査結果）

(単位 人)

	総数 a)	15歳未満	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上
総数 b)	228,212	99,094	65,636	54,519	5,127	1,726	749	419	238	641
現住所	132,218	69,627	40,925	18,399	1,745	473	260	212	140	435
京都市内 c)	25,655	15,518	5,702	2,818	950	363	144	70	30	58
京都府内 d)	3,595	992	1,145	1,266	110	48	21	7	4	2
国内 e)	43,818	4,316	11,532	25,697	1,314	512	226	77	42	101
国外	3,069	466	308	1,266	690	242	67	10	11	9

a) 年齢不詳を含む。 b) 5年前の常住地不詳を含む。 c) 現住所を除く。 d) 京都市内を除く。 e) 京都府内を除く。

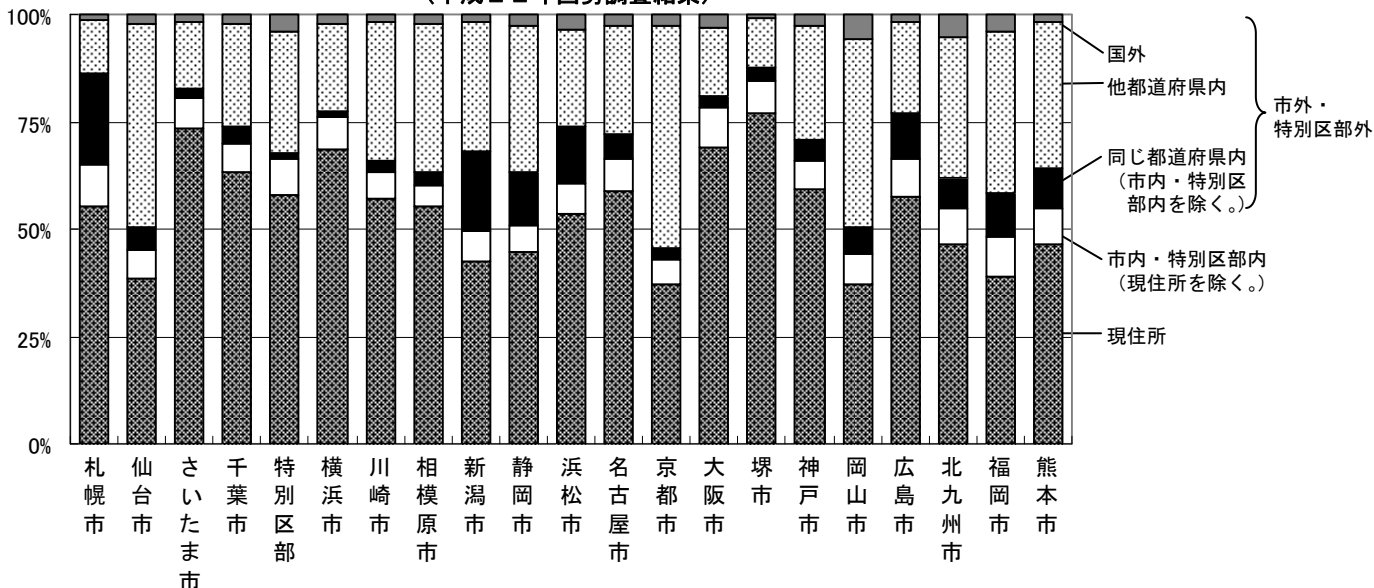
○大都市との比較

20～24歳の学生の移動状況を、政令指定都市及び東京都特別区部と比較してみます。

京都市における5年前に市外にお住まいだった学生の割合（同57.1%）は、大都市で最も高くなりました。次いで、岡山市（同56.0%）、仙台市（同55.0%）の順でした。

また、京都市における5年前と住所が同じ学生の割合（同37.2%）は、大都市で最も低くなりました。最も高かったのは堺市（同76.9%）、逆に京都市に次いで低かったのは岡山市（同37.3%）でした。

図-1 20～24歳の学生における5年前の常住地の割合（「5年前の常住地不詳」を除く。）  
（平成22年国勢調査結果）



この統計トピックに掲載しているデータ（「Microsoft Excel」形式）をはじめ、平成22年国勢調査結果を、「京都市の統計情報（Statistics Kyoto City）」（<http://www.city.kyoto.jp/sogo/toukei/index.html>）に掲載しています。